

ここだけの話！ 100人に聞きました！
**「失敗しないためのリフォーム情報サイト」で
新たにアンケート結果を公開！**
～実家に帰るのは「年に1～2回」48%。実家の心配事は「耐震性」33%～

株式会社LIXIL住宅研究所 アイフルホームカンパニー（本社：東京都江東区／代表取締役社長：今 城幸）では、2015年4月より「失敗しないためのリフォーム情報サイト」を公開しています。今回、全国100名を対象に、『実家』に関する各種調査を行い、当社サイトにて情報を公開しました。その調査結果についてご報告します。

I. 調査結果の概要

◇実家にはどのくらいのペースで帰りますか？

→「年に1～2回」48%、「(年に)3～5回」13%、「ほぼ毎週」13%、「ほぼ毎月」12%、
「(年に)6～8回」8%、「月に2回以上」6%

◇まとまった休みは夫婦どちらの実家に帰りますか？

→「両方の実家に行く」50%、「夫の実家に1～2泊」11%、「妻の実家に1～2泊」11%、
「夫の実家に行くが泊まらない」9%、「妻の実家に3～4泊」9%、「夫の実家に3～4泊」6%、
「妻の実家に行くが泊まらない」4%

◇実家は都会がいいですか、地方がいいですか？

→「実家が地方があればいいなと思う」56%
「実家が都会があればいいなと思う」22%

◇離れて暮らす親の家、心配事は何ですか？

→「耐震性」33%、「設備の老朽化」23%、「安全性」21%、「断熱性」5%、「間取り」3%

上記の他、各調査結果をまとめて「失敗しないためのリフォーム情報サイト」にて情報公開しています。
(<http://www.eyefulhome-reform.jp/research/>)是非ご覧ください。

アイフルホームリフォームサイトで実施している「失敗しないためのリフォーム情報サイト」にて「ここだけの話！100人に聞きました！アンケート」で新たなアンケート調査結果がまとまりました。

今回は、「実家」について、「実家へ帰るペース」「どちらの実家に帰るのか」「実家は都会がいいか地方がいいか」「実家の心配事は何か」について調査を実施し、アンケート結果を公開しました。

【報道関係者のお問合せ先】

(株)LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当：千明

電話：03-5626-8251 メール：kazuhiko.chigira@lixil.com

失敗しないためのリフォーム情報サイト：<http://www.eyefulhome-reform.jp/research/>

調査内容

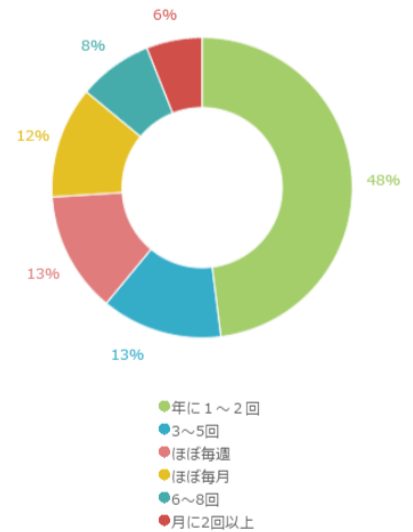
■実家にはどのくらいのペースで帰りますか？

Q1. 実家にどれくらいのペースで帰りますか？

ゴールデンウィークなど、ある程度まとめて休める時には実家に帰る方も多いことと思います。そこで実家にどのくらいのペースで帰るのか、全国の男女 100 人を対象にアンケートを取りました。

●約半数が年に1~2回の帰省！

アンケートの結果、実家に帰る頻度が「年に1~2回」と回答した方は48%でした。続いて、「(年に)3~5回」13%、「ほぼ毎週」13%、「ほぼ毎月」12%、「(年に)6~8回」8%、「月に2回以上」6%という結果になりました。約半数の方が1年に1~2回しか帰らない一方で、月に1回以上と、「頻繁に帰る方」(「ほぼ毎週」+「ほぼ毎月」+「月に2回以上」)が31%いることもわかりました。「実家の近くに住む人と遠くに住む人で、帰る回数は異なる」とのコメントが多く見受けられました。



【アンケート回答例(コメント)】

- ・実家はかなり田舎で遊べるところがあまりないので、あまり帰りません。また親族も誰も集まりません。(30代/女性/専業主婦)
- ・実家が飛行機で行く距離なので、1年に1回しか帰れません。親族は自分の姉妹しか集まらないので、広さは十分です。(30代/女性/専業主婦)
- ・お正月とゴールデンウィーク、お盆に帰省している。実家が遠方なのでそれ以上はむずかしい。(50代/女性/専業主婦)
- ・2か月に1回くらいです。家族、親戚が仲いいのでそれくらいのペースで実家に全員集合しています。(30代/女性/専業主婦)

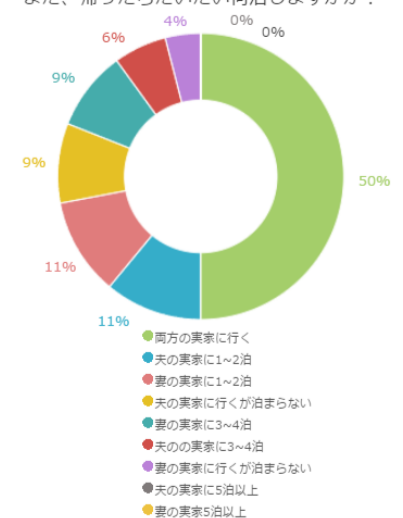
■まとまった休みは夫婦どちらの実家に帰りますか？

ゴールデンウィークのようなまとまった休みでも時間は限られています。実家に帰るとしても、両方の実家に帰るのは時間や手間がかかることもあります。そこで正月やお盆などのまとまった休みでは、どちらの親の実家に帰ることが多いのか、また帰ったら何泊するのかを尋ねました。

Q2. 正月やお盆などの長期休暇、どちらの親の実家に帰ることが多いですか？また、帰ったらだいたい何泊しますか？

●半数が両方の実家に帰る

アンケートの結果、半数の50%が「両方の実家に行く」という結果になりました。宿泊日数は1~2泊が多く、5泊以上泊まる方はいませんでした。コメントでは「実家との距離の都合上、一方にしか帰れない」という意見も挙がりました。



【アンケート回答例(コメント)】

- ・だいたい両方の実家に同じくらい帰る。長期休暇はお互いの予定がちゃんとたちます。(20代/女性/専業主婦)
- ・予定が合えば、両方の実家に同じだけ宿泊するようにしています。どちらが多かったなどとならないように。(30代/男性/会社員)
- ・旦那の実家は遠いので正月やお盆などの長期休暇でないと帰ることができないから。(30代/女性/パートアルバイト)
- ・主人の実家は近距離にあるので、無理なく日帰りができるし、その方が先方にもご迷惑にならないからです。(30代/女性/その他専門職)

■実家は都会がいいですか、地方がいいですか？

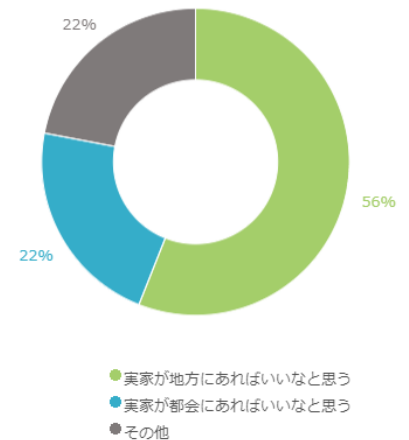
Q3. “田舎”（故郷）について、どう思いますか？

実家に帰る場合、帰る実家はどこにあることが理想なのでしょうか。実家が地方にあるのが良いのか、都会にあるのが良いのか尋ねました。

●実家が地方にある方がうれしい！ 自然とたわむれたい

アンケートの結果、「実家が地方にあればいいなと思う」(56%)が、「実家が都会にある方がいいなと思う」(22%)の倍以上であることがわかりました。

実家が地方にあることを望む人は「自然とたわむれたい」との意見が多くありました。一方、実家が都会にあることを望む人からは、交通の便に関する意見が多数挙がりました。



【アンケート回答例(コメント)】

- ・自分が田舎で育ってきたので。都会でもいいなと思うけどやはり1番落ち着くのは自分が育った地元であり、実家なので。(10代/女性/学生)
- ・子供が出来てからは特に思うのですが、田舎がいいですね。山、海、川それに触れる機会は大事だと思います。(30代/男性/正社員)
- ・交通手段が恵まれている都会なら帰りやすいと思うので、実家は都会の方が良いです。(30代/女性/パート・アルバイト)
- ・故郷が地方にあると帰省がとてもたいへんなので、実家が都会にあればいいなと思う(30代/男性/正社員)

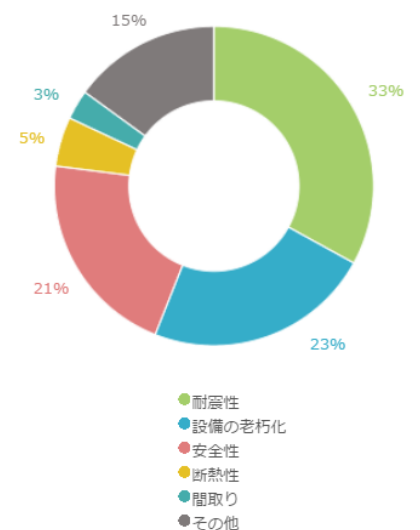
■離れて暮らす親の家、心配事は何ですか？

現代は親から離れて暮らす核家族世帯が多く、親が高齢になれば病気やケガなどの心配事が増えていくことと思います。そのような方は親の住む実家に対しても不安を抱くのではないのでしょうか。そこで実家に対してどのような心配をしているか尋ねました。

Q4. やっぱり気になる！
離れて暮らしている親の実家、心配事は何！？

●設備の老朽化も・・・地震に耐えられるかが心配

アンケートの結果、実家の「耐震性」が心配であるとの声が多く挙がりました(33%)。地震大国とも呼ばれる日本では、いつ、どこで地震が起きるかわからないため、実家を心配に思う方が多いようです。続いて、「設備の老朽化」(23%)、「安全性」(21%)となりました。住まいには、階段の段差や寒い脱衣室など、危険が様々な場所に潜んでいます。その不安を取り除きたいという思いがアンケートの結果に現れました。




【アンケート回答例(コメント)】

- ・実家はかなり昔に建てられた建物なので、大地震が来た時に潰れてしまうのではないかと心配している。(20代/女性/無職)
- ・やはり耐震です。東日本大震災の被害に遭い、実家もヒビが入ったり傾いたりと問題があるので、今後同じ規模の地震が来たら崩落してしまうのではないかと不安です。(20代/女性/会社員)
- ・歳をとって、かなり足腰が悪くなってきたのにも関わらず、今のところ手すりの設置など具体的な何かをしていません。家中段差だらけだし、つまづかないか心配です。(40代/女性/専業主婦)
- ・火の取り扱いや一軒家なのでセールスとかの安全性が気になります。(30代/女性/専業主婦)

《参考情報》 アイフルホームのリフォーム「性能向上リフォーム」


新しい家に住んでいる人であれば、ゴールデンウィーク等で帰省した際、古びた実家に対して不安を感じるかもしれません。アンケートでは、「Q4.実家の心配事はなんですか？」で3割以上の方が「耐震性」を、2割以上の方が「安全性」を選択しました。また、「Q1.実家にどのくらいのペースで帰りますか？」では48%の方が「年に1~2回」と回答しています。その中には「遠くて帰りにくい」という方もいるようです。実家が古い家でもリフォームなどにより「耐震性」や「安全性」を兼ね備えていれば、普段から安心して過ごすことができます。

そこで、アイフルホームのリフォームプラン「性能向上リフォーム」を紹介します。



こんなことでお悩みではありませんか？

- 大きな地震が来たら私の家は大丈夫かしら。
- 夏も冬も暑さ・寒さが外と変わらない。
- 光熱費が掛かる。



性能向上リフォームで解決!!

<<性能向上リフォーム提案例>>

壁の補強・金物の設置	内窓の設置	玄関ドアの交換
物件により価格が異なります	費用の目安 45,000 円/ヶ所※1	費用の目安 290,000 円※2
<p>足りない部分には耐力壁を追加し、壁を補強します。また、必要に応じて柱・筋かいなどに金物を設置してしっかり補強します。</p>  <p>筋かい(耐力壁) 金物の設置</p>	<p>既存の窓との間に生まれる空気層が室内の熱を外に伝えにくくし、外気温の影響を受けにくい、快適な室内環境を実現します。</p> 	<p>高い断熱性の玄関ドアに交換することで、室内から逃げる熱量を減らし、住まいの快適性を向上します。</p> 

※1 新築mitai「暮らし充実パッケージ」(インプラス腰窓、一般複層ガラス) H=1001-1400mm、W=1501-2000mmの場合 費用の目安には工事費を含みます。

※2 新築mitai「暮らし充実パッケージ」(リシェント玄関ドア3 断熱仕様(K2) G77/M17/M24/M27/M28/M77/M78 型 アルミ色、片開き(ランマなし))の場合 費用の目安には工事費を含みます。写真はイメージであり、上記価格のものとは異なります。

※ 上記の価格はあくまでも【費用の目安】となります。付帯工事費用、各種申請費用、その他の現場管理費等については含まれておりません。また、現場状態によっても異なります。詳しくはお近くの店舗までお問い合わせください。

アイフルホームの性能向上リフォームでは、上記以外にも「屋根の軽量化」「基礎の補強」「断熱材の交換」なども行っています。お客様宅一軒一軒に合わせた商品を、ご要望、ご予算をお伺いした上でご提案します。

アイフルホームのリフォームプラン「性能向上リフォーム」の詳細は、以下のサイトでご覧いただけます。

<http://eyefulhome-reform.jp/theme/perform.php>

アイフルホームでは、上記サービスを含め様々なリフォームを手掛けています。アイフルホームの手掛けたリフォーム事例は、以下サイトでご覧いただけます。

<http://eyefulhome-reform.jp/case/>

■調査概要■

【調査名】リフォーム関連各種調査他

【調査方法】インターネット調査

【対象】年齢不問男女

【実施期間】2016年11月15日～11月29日(Q1、Q2)、
2017年06月28日～07月12日(Q3)、2016年08月12日～08月26日(Q4)

【サンプル数】100人

今後も、「リフォーム」に関する気になる情報・アンケート結果を順次公開していきます。

●本件に関するお問い合わせ先

株LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当：千明

電話：03-5626-8251 メール：kazuhiko.chigira@lixil.com

アイフルホーム「失敗しないためのリフォーム情報サイト」ホームページ：

<http://www.eyefulhome-reform.jp/research/>